

番号	掲載日	良くいただくご質問、ご要望等	回答及び実施状況等	担当部署(連絡先)
1	H28.5.31	建設の情報化について、JACICが先導的に対応してほしい。 建設業界がどうあるべきかという視点からもシステムのあり方を考えてほしい。	「建設の情報化について」は、CIMをはじめとして、JACICは先導的な役割を果たしていきたいと考えていますので、ご支援をよろしくお願いいたします。 なお、昨年のJACIC設立30周年記念イベントの中での、東京大学 空間情報科学研究センター 柴崎先生の基調講演はその一環です。ぜひ以下のサイトをご覧ください。 http://www.jacic.or.jp/books/jacicjoho/ki_main.html	経営企画部 電話 03-3584-2404
2	H28.5.31	PPI等、色々なシステムがあるが、統一してほしい。	発注者ごとに、いろいろなシステムを使用している現状です。弊社としてもできれば各発注者にPPIを使用させていただきたく、自治体にも引き続き働きかけてまいります。	
3	H28.5.31	広報が重要。副読本や子供向けの広報誌が作成できないか。	JACICとしても広報は重要だと考えております。 たとえば、土木学会では、昨年の報道機関懇談会において、「土木の魅力を次世代の担い手にいかに伝えるか」をテーマとして開催するなどしており、JACICとしても建設情報システムの向上を図ることにより、建設分野の魅力向上に貢献していきたいと考えています。	
4	H28.5.31	これからは、i-Construction、生産性の向上がキーワード、例えば丁張り等で3次元データを入れて建設機械が自動的に施工することなどがあるが、今後i-ConstructionにJACICとして、どのような関わり方をしていくのか。	国土交通省としてもi-Constructionに強力に取り組み始めており、JACICとしても関係機関と連携しながら、特に建設情報システムの向上を図る観点から、CIMの啓発、普及などを通じて、i-Constructionに貢献していきたいと考えています。	
5	H28.5.31	公共工事を平準化してもらいたい。 発注のピークに合わせた体制を維持するのは大変なので、もっと平準化してくれないと経営負担が大きい。	国土交通省は、i-Constructionの取り組みの中で工事の平準化に取り組むこととしており、以下のページにおいて、平準化を図るための通知や地方公共団体の取り組み事例が紹介されていますので、参考までにご覧下さい。 http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_tk1_000105.html	
6	H28.5.31	余力があるのであれば、国や各自治体が各々HPで公表している指名願いの情報(申請時期や要領等)を一括して公表するサイトを設けてみてはどうか。 それに伴い、各自治体が公表する時期も統一すれば良い。	JACIC NETにおいて、一部、発注情報を掲載していますので、ご利用下さい。なお、各自治体が公表する時期の統一については、そのようなご要望があることを機会があれば国土交通省にお伝えしますが、関係団体を通じてそのようなご意見を国土交通省にお伝えいただくことも重要かと思っておりますので、よろしくお願いいたします。	
7	H28.5.31	仕事の平準化が重要であり、これを進める政策がポイント。 調査基準価格を引き上げるのが重要。 これらを進めるに当たって、JACICのシステムを活用すべき。 人材確保のために、JACICとして出来る広報に取り組んで欲しい。	JACICとしても建設情報システムの向上のため、当社のシステムを活用していくことが重要と考えており、今後も引き続き取り組んでいきたいと考えております。	